

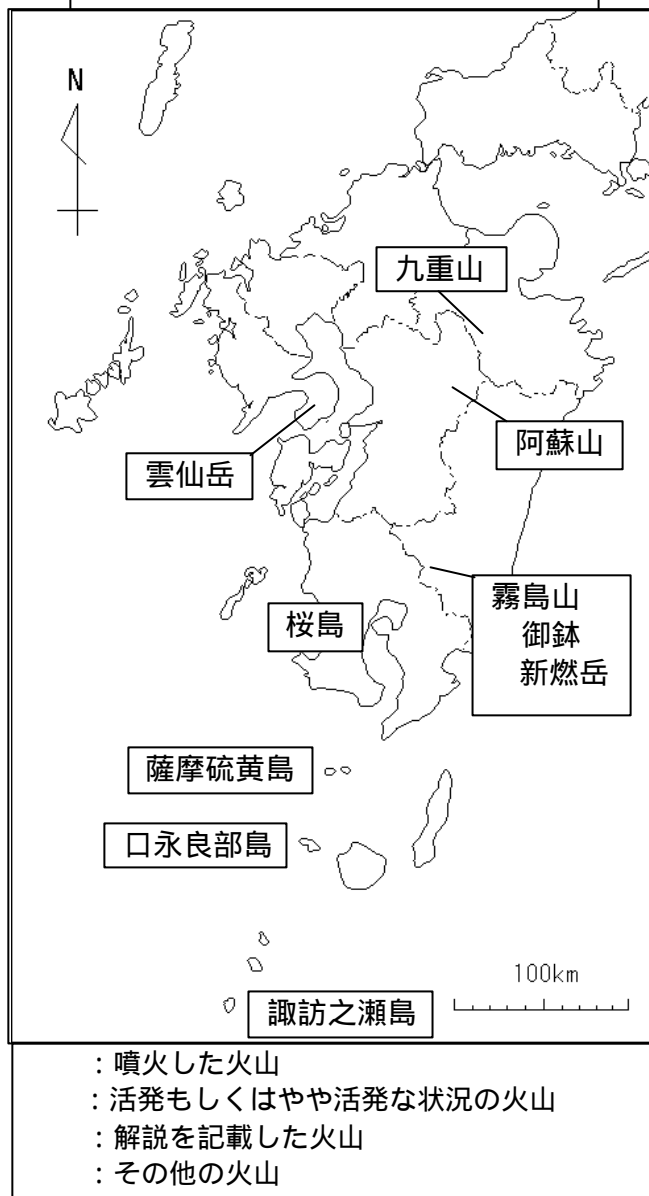
## 九州地方の火山活動解説資料 (平成 19 年 6 月)

福岡管区気象台  
火山監視・情報センター

### 【6月の活動概況】

諏訪之瀬島は活発な状況が続いています。桜島では、比較的静穏な噴火活動が続いています。薩摩硫黄島及び口永良部島はやや活発な状況が続いています。

#### 九州地方および山口県の活火山



#### 各火山の活動概況

**九重山**[静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

**阿蘇山**[静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。  
火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

**雲仙岳**[静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

**霧島山**  
[ 御鉢：静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。  
[ 新燃岳：静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

**桜島**[比較的静穏な噴火活動(レベル2)]  
昭和火口では小規模な噴火が、南岳山頂火口では爆発的噴火が発生しましたが、噴火活動は比較的静穏な状態で経過しました。火山性地震や火山性微動は少ない状態で推移しました。

**薩摩硫黄島**[やや活発な状況(レベル2)]  
噴煙活動、地震活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

**口永良部島**[やや活発な状況(レベル2)]  
火山性地震、火山性微動はやや多い状態が続いており、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

**諏訪之瀬島**[活発な状況(レベル3)]  
小規模な噴火が時々発生するなど、火山活動は活発な状態で経過しました。

#### 火山情報の発表状況

火山情報の発表はありませんでした。

注1 資料中にあるレベルとは、火山活動度レベルを示しています。現在、福岡管内では8つの火山に導入しています。

この解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象庁ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 19 年 7 月分)は 8 月 7 日に公表予定です。

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ(標高)」、「数値地図 10mメッシュ(火山標高)」、「2万5千分の1の地形図」を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。